

教育長コラム「人づくり＝島づくり」 ①文部科学省の「教育委員会月報」に利島村の取組が掲載



【教育長コラム「人づくり＝島づくり」について】

教育長の弟子丸です。突然ですが皆様の中で、毎月の利島小中学校の学校だよりを楽しみにしていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。利島小中学校の様子が記載されているのはもちろんですが、利島の学校の先生方が日々感じていること、考えたこと、大事にしていること等が率直に書かれています。秀逸な内容がたくさん書かれていますので、ぜひ皆様にご覧をいただくと嬉しいです。

一方、利島の教育行政の責任者として、**私自身はどつなのだろうか**と考えた時に、**考えていることを皆様に広く伝えられていないのではないか**と反省することが多いのが現状です。そこで、**広報2月号からコラム「人づくり＝島づくり」として毎月、利島の教育や人づくり、島づくりについての想いを記載していく**ことにしました。

コラムに記載した内容に関して感想・ご意見などがあれば、以下の二次元バーコードからお寄せいただけますと、励みになりますので嬉しいです。少し味気なく見える行政もその中身は人の集まりですので、無記名の中傷等は傷つきますしご配慮いただきたいのが本音ですが、記名したうえでの建設的な厳しいご意見は大歓迎です！

【教育委員会月報について】

さて、第一号の内容ですが、文部科学省が発行する「教育委員会月報」の令和6年1月号で利島村が特集されています（原稿の内容は1月10日時点のもので、教育大綱公表前になります）。

ここ1年ほどの利島村教育委員会の考え方や取組等を全国の教育関係者向けにまとめたものです。ぜひ二次元バーコードからアクセスいただき、全文（5ページ分）をご確認いただくと嬉しいです。

記事で強調していますが、私が離島の教育関係者と話す際に、時折聞こえてくる悔しい言葉は2つです。1つが「島の教育は遅れている」、もう1つが「どうせ島だから」です。むしろ**最近の流れは、小規模地域の置かれている環境をポジティブに捉えています**ので、2つの言葉はいずれも不当な評価で、思い込み・誤解に過ぎませんが、重要な点は、良くも悪くも**どちらに転ぶかは人次第**だということです。そのために**我々には①意識的に前向きに、②当事者として「やってみよう精神」で、③外との比較を恐れない、という3点が求められます。**

（教育委員会月報はこちらから）



（コラムへのご意見はこちらから）



【新しい教育大綱、公表しました！】

10月29日～11月15日と12月22日～1月12日の2度、意見募集を行っていた**利島村の新しい教育大綱について、完成版を次ページの通り公表**しました。協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

ここでは、特徴を2点だけご紹介します。①利島を担う「人づくり」の重要性を踏まえ、「教育大綱」という名前ではなく、**【“人づくりが島づくり”大綱】という名前**にしています。②利島を担う人物像を**「利島を良くする自燃性の人」と定義**し、そうした「人づくり」のための**3本柱を「当事者」「自立」「一体感」として設定**しています。島内外の利島に関わる皆様と一緒に創り上げた【“人づくりが島づくり”大綱】です。「絵に描いた餅」にならないように、具体的な取組を皆様とともに進めていければと思います。

※次号は、【“人づくりが島づくり”大綱】に込めた想いや、具体的な取組として4月からスタートする「義務教育学校」について記載する予定です。

新しい教育大綱である“人づくりが島づくり”大綱を公表しました。

～利島村の新しい教育大綱の公表について～

住民の皆様には於かれましては日頃より行政運営全般ならびに教育行政に多大なるご理解とご支援を賜りまして誠に感謝申し上げます。

さて、このたびは弟子丸教育長と共に利島の教育改革の大きな柱として、教育大綱の改定を進めてまいりました。「改定」というよりも、「練磨」といった表現が適切になるかと思いますが、これまでの大綱を更にバージョンアップするイメージであります。高校の無い当村にとって、内地への高校進学は大きな課題ですが、同時に本人にとっては大人への成長に繋がる大きなチャンスでもあります。15の春に向け、島全体で応援するような大綱にしています。

また、「人づくりが島づくり大綱」という名の通り島民全体にとって拠りどころとなるようなものであることを願っております。島の宝でもある子供たちを島全体で支えていき、またその支える島民自身も成長できる。そのような利島を目指し、新しい教育大綱として公表します。



←説明資料はこちらから
(教育委員会ホームページ)

利島村長 村山 将人
(問合せ先) 利島村教育委員会 (04992-9-0331)

利島村“人づくりが島づくり”大綱～利島を良くする「自燃性」の人：「当事者」「自立」「一体感」～

利島村は100周年！



利島村及び利島村教育委員会は、利島の将来像『生き生きとした活力のある島 自立する村 利島』を実現するため、利島村民や利島にゆかりある人々（利島人）の力に最大の価値をおきます。

一人ひとりが自燃性を発揮し、村の将来を創る「自立した当事者」として活躍する「一体感のある島」利島の実現を目指します。

≪3つの柱≫

そのために、以下3つの柱を設定し、利島の強みを生かした前向きな取組を推進します。実施する取組は、村民の皆様からの生の声と数量的なデータの両面から効果検証し、改善していきます。

- (1) 一人ひとりが、利島や世の中をより良くする「当事者」として生涯学び合い、高め合い、行動し合う島づくり
- (2) 子供たちの「15の春」に向けた「自立」をみんなで実現する島づくり
- (3) 多様性のもとで支え合い、住みやすさと幸福を実感できる、「一体感」のある島づくり

【人物像】「自燃性」の人

【3つの柱】(1)「当事者」

(2)「自立」

(3)「一体感」



- (1) 一人ひとりが、利島や世の中をより良くする「当事者」として生涯学び合い、高め合い、行動し合う島づくり

- ・「評論家」ではなく物事を自分事として捉える「当事者」として、利島や世の中を良くするために行動できる人材の育成
- ・周囲と協調しながら、失敗を恐れずに前向きに挑戦できる人材の育成
- ・島内外の知恵・知見を生涯にわたって学び続け、現在利島に住んでいなくても利島に貢献できる仕組みの充実

- (2) 子供たちの「15の春」に向けた「自立」をみんなで実現する島づくり

- ・「利島ならではの」環境を生かし、予測不可能な時代にあらゆる場所で活躍できる「利島っ子」を育てる義務教育学校
- ・利島の担い手の一員である教師自身が学び続けて成長できる、「教師が育つ利島」の実現
- ・「15の春自立シート」や「利島っ子カリキュラム」に基づき、保育園・学校・家庭・地域等の関係者一丸で子供を応援し、子供と大人が共に成長する地域ぐるみの子育て

- (3) 多様性のもとで支え合い、住みやすさと幸福を実感できる、「一体感」のある島づくり

- ・利島に「住んでみたい」「住み続けたい」「帰ってきたい」と思う、安心できる「居場所」と盛り上がる事ができる「舞台」の創出
- ・「憶測」ではなく「対話」で溢れるようにするための、お互いを認めて語り合える場づくり
- ・一人ひとりの将来と村の将来について見通しを持ち、安心して利島に住み続けられるようにするための支援の充実